

ERPワークロードのクラウド移行に対する5つの誤解と、MSPによるそれらの対応

FROST & SULLIVAN VISUAL WHITEPAPER
SPONSORED BY

kyndryl

目次

- 3 序論
- 4 ERPのクラウドへの移行
- 5 なぜクラウドのマネージドサービスを利用するのか?
- 6 誤解1: 自分でやるしかない!
- 7 誤解2: ワークロードとデータの安全が確保されているのか分からない!
- 8 誤解3: ワークロードのコントロールを失ってしまう!
- 9 誤解4: クラウドERPを管理するスタッフを雇用すると、コストが上昇してしまう!
- 10 誤解5: これに失敗したら、私のキャリアは終わりだ!
- 11 企業はMSPに何を求めているのか?
- 12 適切なマネージドクラウドサービスプロバイダーを選ぶには
- 13 終わりに



序論

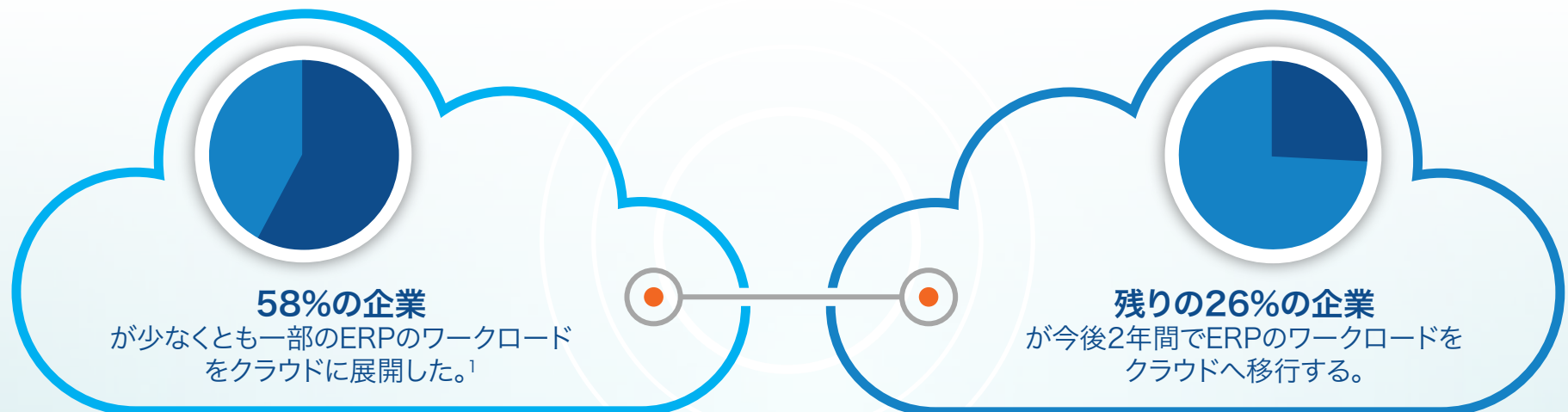
過去18カ月間の事業から私達が学んだことがあるとしたら、それはアジリティ（機敏性）の重要性ではないでしょうか。事業は現在も未来も、必要に応じて軸を変えていくためのリソースを持っていない限りはなりません。計画のない事業は、次の破壊的変革を生き延びることはできないでしょう。しかし現在のテクノロジーは複雑です。レジリエント（弾力性のある）なデジタル企業になるには、様々なインフラ、プラットフォーム、サービスを必要とし、それらを総合的に活用するには、最先端のIT部門でさえ十分に持ち合わせていない新たなスキルセットが必要になるでしょう。適切なテクノロジーの基盤を持つことは、マイグレーション（移行）時に保護されなければならない機密データを扱う企業支援計画（ERP）のような、事業に不可欠なアプリケーションにとって更に重要になります。しかもそれを、事業継続性を確保しつつ、最小限のダウンタイムで移動させなければなりません。

このようなデジタルジャーニーを担当する皆様にとっては、個人的なリスクがあります。貴方の下した決定が、企業の名声だけでなく、貴方自身のキャリアにも影響を与える可能性があります。もし貴方が事業を完全にデジタル化していないなら、今がその分岐点です。いかなる遅れも競争から離脱する原因となり、1つの過ちが事業の成長、顧客体験の制限につながります。

マネージドサービスの専門家の活用により、次世代ITへ自信をもって踏み出すことができ、来週、来月、来年あるいは今後数年に来るであろう事業の破壊的変革に対し準備をすることができます。

ERPのクラウドへの移行

多くの企業において、事業運営の中心であるERPシステムほどワークロードが重要かつ複雑なものはありません。SAPやオラクルなどの業界リーダーの強力なERPアプリケーションに長い間頼ってきたおよそ8万社の企業にとって、ここにジレンマが存在します。クラウドへの移行は、新しく柔軟性のあるテクノロジーの利用、場所にとらわれない社員によるアクセス性の向上、強化されたセキュリティおよびコンプライアンスを意味します。しかし、事業全体の移行をうまく管理できなければ、それは事業の破壊をもたらす可能性があります。



1. フロスト&サリバンの、大規模な組織に対するERPシステムの実装、アップグレードにおける763名の意思決定者/インフルエンサーに調査を実施。

なぜクラウドのマネージドサービスを利用するのか？

多くの企業は、事業を中断することなくこれらのデータ集約的なワークロードを移行することに苦労しています。

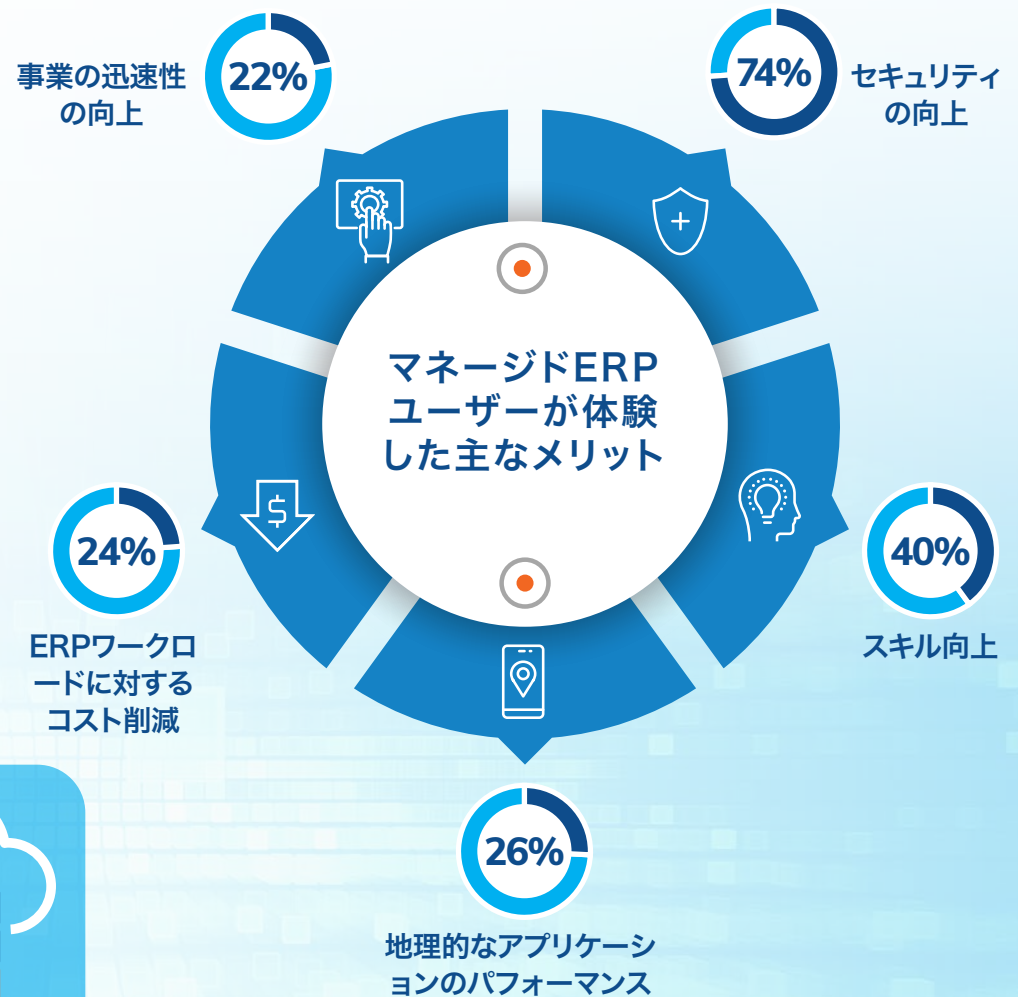
その結果、重要なERPワークロードの移行を計画しているIT部門の意思決定者は、部門スタッフ、事業の利害関係者、企業のリーダーとの、厳格かつ詳細な計画の精査に直面します。

フロスト&サリバンの調査の回答者は、事業に影響を与える、認識していた課題、実際に起きた課題の両方について言及しました。

課題を克服し競争力を獲得するために、マネージドサービスプロバイダー（MSP）の採用を志向する組織が増加しています。

MSPと協業することで、企業は課題を解決し、社内の利害関係者の信頼を得て、成果を上げるための最善の準備が整います。

フロスト&サリバンが調査した全ての企業の
36% がERPのワークロードをクラウドへ移行し管理するためにMSPを活用している



次ページから、ERPのクラウド移行における主な5つの課題、そしてそれを克服するためにマネージドサービスプロバイダーがどのようにご支援するのかをご紹介します。

誤解
#1

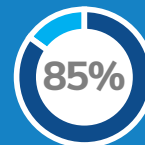
「自分でやるしかない!」

クラウドの導入はセルフサービスであるというのが、最初の共通した認識です。こういった考えは、重要なERPのワークロードをクラウドへシフトするための準備段階で障害となります。多くの企業は、そのような大規模な、レガシーワークロードの移行が思っていた以上に複雑だと気づきます。クラウドインスタンスの調達は簡単ですが、世界中の全てのユーザーのために最適なパフォーマンスを確保するためにインスタンスを管理することは困難です。企業は、社内スタッフは適切に移行させるために必要な専門性を持っていないことに気づきます。ERPのワークロードをクラウドへシフトすることを検討している非クラウドユーザーの85%が、専門性の欠如が課題の1つであると回答しました。

MSPのメリット: マネージドクラウドERPユーザーの多くは、移行の取り組みを素晴らしいまたは非常に良いと評価し、MSPは社内チームより多くの必要な専門性を提供してくれたと回答しました。



クラウドに移行していない回答者のなかで、専門性の不足は移行の妨げあるいは中断の要因だと答えた回答者の割合



マネージドクラウドのユーザーのなかで、移行の取り組みを素晴らしい、または非常に良いと回答したユーザーの割合



スキルの向上は、クラウドERPのワークロードにMSPを利用することの主なメリットの1つであると答えた回答者の割合

誤解
#2

ワークロードとデータの安全が確保されているのか分からない!

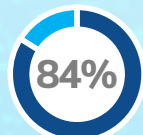
クラウドERPの利用を考えている企業にとって、ワークロードと関連データの安全の確保は、ワークロードのクラウドへの移行において不可欠な要件です。

MSPのメリット: MSPを活用してERPをクラウドへ展開した企業にとって、MSPがもたらした経験およびベストプラクティスが最も重要なメリットでした。

非クラウドERPユーザーにとって、ERPをクラウドへ移行する時の最も大きな課題

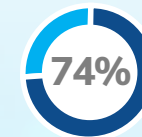


セキュリティの確保

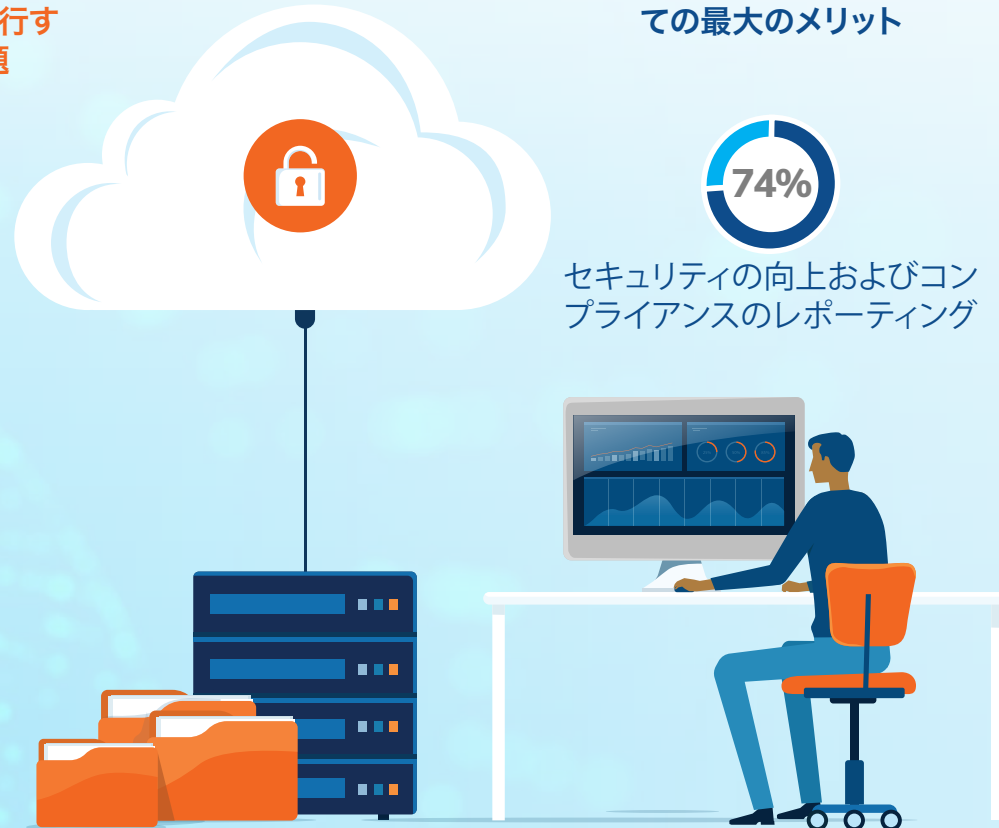


コンプライアンス

マネージドERPユーザーにとっての最大のメリット



セキュリティの向上およびコンプライアンスのレポートニング



誤解
#3

「ワークロードのコントロールを失ってしまう！」

企業によっては、最も機密性が高く重要なワークロードの管理をマネージドサービスプロバイダーに譲渡することは考えられないことかもしれません。実際、多くの企業が、「自社のワークロードのコントロールを失う」ことは、ERPをクラウドへ移行することの主な障害の1つであると答えています。

MSPのメリット: MSPと提携した企業にとって、コントロールを「失う」ことは問題ではありません。マネージドERPのユーザーの多くは、MSPの管理下でのほうが、クラウドERPのワークロードはうまく機能し、自社の人材をより価値の高いプロジェクトへ注力させることができたと言っています。

非クラウドERPユーザーが考える、ERPのクラウドへの移行における主な課題

29%

ワークロードのコントロールを失うこと

29%

企業文化の受容

マネージドERPユーザーが体験した主なメリット

72%

より効率的にワークロードが機能した

70%

社内のスタッフをより高い価値のある活動に割り当てることができた

68%

価値を生み出すまでの時間の短縮

誤解
#4

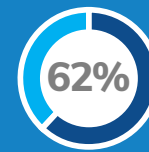
クラウドERPを管理するスタッフを雇用すると、コストが上昇してしまう!」

クラウドのワークロードを管理する専門家を雇うことで、コストが増加すると心配する企業もあります。

MSPのメリット: 実際のクラウドERPユーザーの多くは、MSPの助言により、総コストが削減されたと答えました。インフラの最適化により、MSPは適切なサイズに調整されたクラウドの利用を実現し、必要であれば、例えば、未使用あるいは使用率の低いリソースを停止するなどの提案も提供します。これによりコスト、そしてインフラの無秩序な拡大を抑えることができます。



非クラウドERPユーザーは、ワークロードのクラウドERPへの移行のためのMSPの利用は多大なコストがかかると考えている。



のマネージドERPユーザーは、MSPにより、クラウドERPのワークロードの総コストを削減することができるかと答えた。



誤解
#5

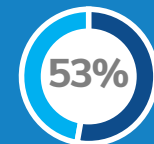
「これに失敗したら、私のキャリアは終わりだ！」

IT専門家は通常、デジタルトランスフォーメーションに関するビジネス協議の最前線には参加していないかもしれませんが、業界内のリーダーやイノベーターとしての自身の専門的な評判やビジネスの評判が、デジタルトランスフォーメーションの成否によって大きく影響を受ける可能性があることを認識しています。

MSPのメリット:クラウドERPユーザーの約半数が、ビジネスのアジリティ（機敏性）に関する企業目標の達成に、マネージドサービスプロバイダーが貢献したと答えました。さらに、MSPはリソースをより戦略的に再活用できることから、業界のイノベーターとして認識されていました。



が、ERPマネージドサービスプロバイダーは、アプリのパフォーマンスと操作の可視性を向上させ、業務における成功を実現すると回答した。



が、ERPマネージドサービスプロバイダーとの提携は、KPIを達成する助けになると回答した。



企業はMSPに何を求めているのか？

ERPワークロードのクラウドへの移行が完了していようと企画段階であろうと、企業のマネージドサービスプロバイダーの選定基準は似ています。企業はプロバイダーをテクノロジーとデジタルトランスフォーメーションの豊かな経験を持ち、信頼できるアドバイザーになれるパートナーとして見ています。

企業のデジタルトランスフォーメーションにおける、技術的ではない要素（事業計画の立案、リーダーシップサポートなど）に関する経験

61%

必要に応じた、付加価値のある専門サービスの用意（ロードマップ、ワークロード評価、ワークロードの見直し、移行など）

55%

ハイブリッドな（オンプレミス+クラウド）環境の利用/管理能力

50%

企業のニーズに合ったSLA（可用性、セキュリティ、アプリのスループットなど）

50%

ダッシュボードまたは管理ポータルを介した、ワークロードパフォーマンスの可視性の提供






48%

ERPベンダーとの密接な協業関係

43%

適切なマネージドクラウドサービスプロバイダーを選ぶには

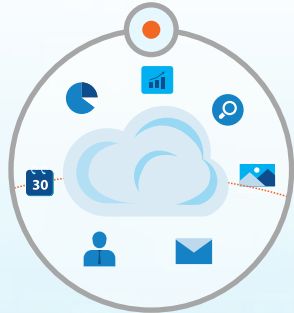
ERPのような重要なワークロードのクラウド移行において、マネージドサービスプロバイダーがもたらす重要な要素は何でしょうか？以下をご検討ください：

-  **テクノロジー、プロフェッショナルサービスの両方における専門性：**
円滑に移行を進めるために、テクノロジーを扱う豊かな経験に加え、複雑なアプリケーションの統合を成功させるための実際的な知見を持つプロバイダーをお探してください。
-  **強固かつ統合的なセキュリティ体験を提供できる能力：**
データセキュリティは当然あるべき機能であると考えられるかもしれませんが、全てのマネージドサービスプロバイダーが高度なデータセキュリティ機能を有し、安全なサービスを顧客に提供してきた経験があるわけではありません。
-  **優れたビジネスケースを構築するための知見：**
マネージドサービスの優れたビジネスケースをどのように構築するかを理解しており、企業のビジネスモデルのあらゆる側面を考慮し、企業に利益につながるクラウドの利用をサポートするツール、プロセスを開発した経験を持つクラウドサービスプロバイダーをお探してください。
-  **テクノロジープロバイダーとの関係：**
マネージドクラウドプロバイダーのプラットフォームプロバイダーとの関係も確認してください。SAPやOracleといったベンダーから評価が高く、関係も良好なマネージドクラウドプロバイダーは、独自の構成の導入や難しい移行の際にプラットフォームプロバイダーのサポートを受けることができ、新しいリファレンスアーキテクチャや技術サポートでも同様のサポートを得ることができるでしょう。
-  **包括的なソリューションを提供する能力：**
選定されるプロバイダーは、簡単な電子メールのアプリケーションから複雑なERPシステムまで、貴社が利用または移行を考えるいかなるワークロードも管理できなければいけません。ERPおよびERPではないワークロードの両方を取り扱うことのできるプロバイダーは、どのようなワークロードが含まれるかに関わらず、貴社が事業に必要な完全なソリューションを得るためのサポートをできるでしょう。

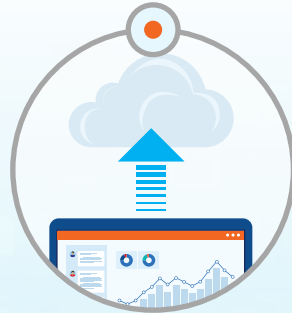
終わりに

SAPやOracleなどの極めて重要なワークロードのクラウドでの展開は困難なことのようには思えますが、信頼できるマネージドクラウドサービスパートナーの支援を受けることで、確実に成功に導くことができます。多くの企業が、重要なビジネスワークロードをクラウドベースの環境へ移行する際に、熟練したマネージドクラウドサービスプロバイダーを利用し、価値ある支援を受けています。

マネージドクラウドサービスに移行した企業は、以下のような成果を高く評価しています：



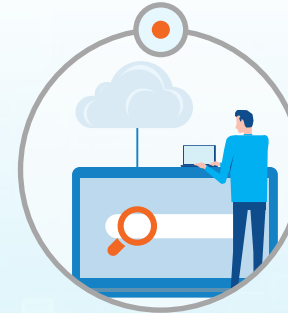
ERPワークロード
の最適なパフォーマンス



クラウドベースのERP
ワークロードの迅速
な提供



セキュリティおよび
コンプライアンスの
改善




事業継続性および災
害復旧の向上



内部・外部顧客への
サービス向上

このような良好な結果を得るために、企業は、強力な技術力とコンサルティング能力を有し、セキュリティ、アプリケーション、データ移行能力において幅広く深い能力を持つマネージドクラウドプロバイダーを選定しています。**知見の豊富なプロバイダーを選定することにより、貴社のビジネスはクラウドマネージドサービスにおける優れた成果を得ることができるでしょう。**

次のステップ 

 キンドリルに関する情報は、以下のリンクをご覧ください：
www.kyndryl.com

成長するとは旅することであり、私達はそのガイドです。

60年以上にわたり、フロスト&サリバンは、経済的潜在力を最大化し、台頭するメガトレンドに対応し、持続可能な成長に基づく未来を形作るための、革新的な成長機会の流れを生み出すために、企業、政府、投資家に対し実用的な洞察を提供してきました。

未来の成長に向けたディスカッションのため、ぜひ弊社にご連絡ください